



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ

コード番号 2489 URL <http://www.adways.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 岡村 陽久

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員(管理担当)

(氏名) 田中 庸一

TEL 03-5339-7122

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,490	14.4	1,025	58.0	1,044	61.4	692	112.5
23年3月期第3四半期	11,788	25.9	649	42.6	646	45.2	325	42.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 677百万円 (103.6%) 23年3月期第3四半期 332百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	9,138.30	8,952.97
23年3月期第3四半期	4,078.46	4,002.13

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,419	64.7	4,800	64.7		
23年3月期	6,280	56.1	3,526	56.1		

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,800百万円 23年3月期 3,526百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,230.00	1,230.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	13.2	1,400	62.8	1,430	65.4	900	91.7	11,722.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	79,930 株	23年3月期	79,855 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	0 株	23年3月期	4,689 株
----------	-----	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	75,728 株	23年3月期3Q	79,855 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)の日本経済を取り巻く環境は、東日本大震災の復興に向けた動きとともに国内の経済活動も回復基調にある一方、欧州財政危機による世界経済の減速、長期化する円高や株価の低迷など、依然として不透明な状況が続きました。

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、ソーシャルメディア市場の拡大やスマートフォン、タブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化などを受け、今後も順調な拡大が予測されております。当社の主力事業であるアフィリエイト広告市場規模は平成23年度に1,052億5,000万円(前年比4.3%増)に拡大すると予測されております。また、平成23年のスマートフォンの出荷台数は2,131万台(前年比150.5%増)となり当社の注力分野であるスマートフォン関連市場も拡大が見込まれます。(参考:矢野経済研究所)

こうした経営環境の下、当社グループはアフィリエイト広告事業と、急成長が見込まれるスマートフォンアプリ市場及び海外事業に投資を行い、シェアの拡大及び収益力の向上に注力してまいりました。

当四半期におきましては、引き続き『カイクツクロニクル』、『小悪魔キャバ嬢らいふ』『煙に巻いたらさようなら。』などの既存のゲームアプリに続き、『7 セブэн サウザンドウォーズ』、『ヒーロー:ヒストリー』などの新タイトルを発表し、ユーザー数の拡大に取り組みました。また、既存クライアントのスマートフォンへの移行を受け、スマートフォンアプリ向け広告『AppDriver』のネットワーク拡大に取り組むとともに、既存サービスのスマートフォン対応を推進してまいりました。

海外においては、中国においてアフィリエイト広告事業及びその周辺事業の拡大に向けた事業展開を実施するとともに、ベトナム、フィリピン、インドネシアに続きシンガポールにおいて子会社を設立、米国カリフォルニア州に調査拠点を設立しました。

また、平成23年11月には伊藤忠商事株式会社に対する第三者割当による自己株式の処分を行い、同社の関連会社となりました。同社との協業体制を強化することで主に中国や東南アジアを中心に海外市場へのシフトをさらに加速させてまいります。

以上の結果、当社グループの売上高は前年同期より1,702,409千円増加し、13,490,811千円(前年同期比14.4%増)となりました。

売上総利益は、『カイクツクロニクル』等のゲームアプリにおける課金収入の増加に伴い収益率が上昇したことにより、前年同期より795,094千円増加し、2,816,102千円(前年同期比39.3%増)となりました。

営業利益は、前年同期より376,486千円増加し、1,025,824千円(前年同期比58.0%増)、経常利益は、前年同期より397,365千円増加し、1,044,297千円(前年同期比61.4%増)となりました。

四半期純利益は、前年同期より366,339千円増加し、692,025千円(前年同期比112.5%増)となりました。

## ①広告事業

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	10,628,759	11,287,990	659,230	6.2
(外部売上高)(千円)	10,592,598	11,198,783	606,184	5.7
(セグメント間売上高)(千円)	36,160	89,206	53,046	146.7
セグメント利益(千円)	1,234,194	1,279,052	44,858	3.6

急速なスマートフォン市場の拡大を受け、これまでの「PC」「モバイル」といったデバイス単位による組織から、デバイスに捉われずインターネット上の広告について総合的な提案をサービスとする組織へ変更を行ったため、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「インターネット広告事業」、「モバイル広告事業」、「コンテンツプロバイダ事業」、及び「海外事業」の4区分から、「広告事業」、「コンテンツプロバイダ事業」、及び「海外事業」の3区分に変更しております。また、平成23年3月期第3四半期につきましては当該変更を反映した場合の売上高及び利益の金額を記載しております。

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」、携帯電話を介したアフィリエイト広告「Smart-C」やインターネット(PC)を介したアフィリエイト広告「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第3四半期連結累計期間における広告事業は、スマートフォン向け広告の取り扱い増加に向けた営業強化や、既存サービスのスマートフォン対応などに取り組んでまいりました。

この結果、広告事業の売上高は11,198,783千円(前年同期比5.7%増)、セグメント利益は1,279,052千円(前年同期比3.6%増)となりました。

## ②コンテンツプロバイダ事業

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	732,848	938,626	205,777	28.1
(外部売上高)(千円)	730,295	877,236	146,940	20.1
(セグメント間売上高)(千円)	2,553	61,390	58,837	※-
セグメント利益(千円)	80,772	145,609	64,837	80.3

コンテンツプロバイダ事業は、連結子会社であるアドウェイズ・エンタテインメント及び平成23年7月に連結子会社化した株式会社ラビオンソーシャルにおいて、インターネット・モバイルのコンテンツサービス、ソーシャルメディア及びスマートフォンアプリの企画、開発、運営等を行っております。

当第3四半期連結累計期間におけるコンテンツプロバイダ事業は、アドウェイズ・エンタテインメントにおいては携帯電話向けコンテンツからスマートフォン向けコンテンツへの対応を積極的に進めました。

ラビオンソーシャルにおいてはスマートフォン向けゲームアプリ『小悪魔キャバ嬢らいふ』を中心に提供アプリの利用が拡大したことにより、前年同期比で売上高、セグメント利益が増加いたしました。

この結果、コンテンツプロバイダ事業の売上高は877,236千円(前年同期比20.1%増)、セグメント利益は145,609千円(前年同期比80.3%増)となりました。

※セグメント間売上高の対前年同期増減率は、増加率が1,000%以上のため表記しておりません。

## ③海外事業

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	449,741	1,475,425	1,025,684	228.1
(外部売上高)(千円)	449,741	1,407,254	957,512	212.9
(セグメント間売上高)(千円)	-	68,171	68,171	-
セグメント利益(千円)	4,201	365,161	360,960	※-

海外事業は、主に中国において、インターネット上で事業展開を行う企業に対し、アフィリエイト広告「CHANet」を中心とした総合的なインターネット広告の提供及び『カイツクロニクル』を中心としたゲームアプリの開発・運営を行っております。

当第3四半期連結累計期間における海外事業は、中国に進出する日系企業、外資企業、及び現地企業への営業を強化したことにより、アフィリエイト広告「CHANet」を軸として純広告やサイト制作等の取引高が増加いたしました。また、『カイツクロニクル』に続いて、『煙に巻いたらさようなら。』、『7セブン サウザンドウォーズ』などの新ゲームアプリでの課金収入が増加し、前年同期比で売上高、セグメント利益が大きく増加いたしました。

この結果、海外事業の売上高は1,407,254千円(前年同期比212.9%増)、セグメント利益は365,161千円となりました。(前年同期から360,960千円の増加)

※セグメント利益の対前年同期増減率は、増加率が1,000%以上のため表記しておりません。

## ④その他

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	23,400	13,478	△9,922	△42.4
(外部売上高)(千円)	15,765	7,536	△8,228	△52.2
(セグメント間売上高)(千円)	7,635	5,941	△1,693	△22.2
セグメント損失(△)(千円)	△141,036	△162,916	△21,879	△15.5

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第3四半期連結累計期間におけるその他は、売上高は7,536千円(前年同期比52.2%減)と前年同期よりも減少し、新規事業関連の経費が増加したため、セグメント損失は162,916千円(前年同期より21,879千円の増加)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

資産においては、流動資産が前連結会計年度末より1,068,695千円増加し6,386,853千円となりました。主な増加要因は現金及び預金が711,534千円増加したこと及び売掛金が316,602千円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末より70,719千円増加し1,032,783千円となりました。主な増加要因は投資その他資産のその他に含まれる投資有価証券が23,721千円、出資金が69,995千円増加したことによるものであります。

負債においては、流動負債が前連結会計年度末より132,006千円減少し2,582,741千円となりました。主な減少要因は未払法人税等が119,654千円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末より2,861千円減少し36,524千円となりました。主な減少要因は、その他に含まれる長期未払金が4,016千円減少したことによるものであります。

純資産においては、前連結会計年度末より1,274,282千円増加し4,800,370千円となりました。主な増加要因は、自己株式の処分により595,034千円の払い込みを受けたこと及び四半期純利益692,025千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、ソーシャルメディア市場の拡大やスマートフォン、タブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化などを受け、今後も順調な拡大が予測されております。

当社グループは、アフィリエイト広告事業、急成長が見込まれるスマートフォンアプリ市場及び海外事業に投資を行い、シェアの拡大及び収益力の向上に取り組んでまいります。

国内においては、アフィリエイト広告事業及びその周辺事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携Webサイト(メディア)数の増加を図るとともに、差別化を図ります。また、スマートフォン版ゲームアプリのラインナップの拡充を進めるとともに、スマートフォンアプリ向け広告『AppDriver』のネットワーク拡大に取り組んでまいります。

海外においては、中国におけるアフィリエイト広告市場に関しても今後の拡大を予想し、一層の営業体制の強化を図り、シェアの拡大及び収益力の向上に取り組んでまいります。並びに、今後市場の拡大が予想される新興国マーケットへの参入を加速し、世界マーケットにおける営業基盤の拡大に取り組んでまいります。

また、PC版アフィリエイトプログラム「JANet」、モバイル版アフィリエイトプログラム「Smart-C」とともに、アフィリエイト広告業界全体の健全性向上に努め、より一層信頼性の高いアフィリエイト広告配信ネットワークを目指してまいります。

以上により、平成24年3月期の業績見通しにつきましては、売上高18,000百万円(前期比13.2%増)、営業利益1,400百万円(前期比62.8%増)、経常利益1,430百万円(前期比65.4%増)、当期純利益900百万円(前期比91.7%増)を見込んでおります。

(剰余金の配当予想)

配当につきましては、会社設立以降平成23年3月期までは、財務体質の強化並びに将来の事業展開に備えるため、内部留保の充実を図るため実施しない方針を取らせていただいております。当期につきましては、スマートフォン向けゲームアプリが大幅に成長し、当初予想を大幅に上回る結果で推移していることから、株主の皆様のご支援にお応えするため、初めての株主配当を実施させていただくことといたしました。配当金につきましては、1株当たり1,230円の期末配当の実施を予定しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,843,477	3,555,012
売掛金	2,302,521	2,619,124
たな卸資産	4,055	2,204
繰延税金資産	28,830	23,485
その他	170,259	222,961
貸倒引当金	△30,986	△35,934
流動資産合計	5,318,157	6,386,853
固定資産		
有形固定資産	90,874	117,290
無形固定資産		
のれん	239,534	226,394
その他	103,442	72,901
無形固定資産合計	342,977	299,295
投資その他の資産		
繰延税金資産	120,398	109,541
その他	415,140	509,506
貸倒引当金	△7,327	△2,851
投資その他の資産合計	528,211	616,196
固定資産合計	962,063	1,032,783
資産合計	6,280,221	7,419,636
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,908,323	1,962,423
未払法人税等	240,591	120,936
ポイント引当金	6,154	4,447
その他	559,678	494,934
流動負債合計	2,714,748	2,582,741
固定負債		
その他	39,385	36,524
固定負債合計	39,385	36,524
負債合計	2,754,134	2,619,266
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,477,633	1,478,542
資本剰余金	1,467,633	1,663,601
利益剰余金	996,489	1,688,514
自己株式	△399,974	—
株主資本合計	3,541,781	4,830,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	6,017
為替換算調整勘定	△15,693	△36,305
その他の包括利益累計額合計	△15,693	△30,288
純資産合計	3,526,087	4,800,370
負債純資産合計	6,280,221	7,419,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	11,788,401	13,490,811
売上原価	9,767,393	10,674,708
売上総利益	2,021,008	2,816,102
販売費及び一般管理費	1,371,670	1,790,278
営業利益	649,338	1,025,824
営業外収益		
外国税還付金	—	8,500
為替差益	2,160	6,574
その他	3,201	3,885
営業外収益合計	5,362	18,961
営業外費用		
支払利息	115	—
創立費	—	305
貸倒引当金繰入額	7,500	—
その他	152	183
営業外費用合計	7,767	488
経常利益	646,932	1,044,297
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,920	—
投資有価証券売却益	99	3,547
償却債権取立益	3	—
特別利益合計	3,024	3,547
特別損失		
固定資産売却損	130	—
固定資産除却損	—	354
投資有価証券売却損	—	9,773
投資有価証券評価損	20,959	643
段階取得に係る差損	—	10,570
減損損失	11,227	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,336	—
特別損失合計	50,654	21,341
税金等調整前四半期純利益	599,301	1,026,503
法人税、住民税及び事業税	253,776	327,507
法人税等調整額	19,839	6,971
法人税等合計	273,616	334,478
少数株主損益調整前四半期純利益	325,685	692,025
四半期純利益	325,685	692,025



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	325,685	692,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	6,017
為替換算調整勘定	7,060	△20,612
その他の包括利益合計	7,060	△14,595
四半期包括利益	332,746	677,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332,746	677,430

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インターネット 広告事業	モバイル 広告事業	コンテンツ プロバイダ 事業	海外事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,803,364	7,825,209	661,330	449,741	11,739,645	48,756	11,788,401	-	11,788,401
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	18,915	61,541	2,330	-	82,787	60,611	143,398	△143,398	-
計	2,822,279	7,886,750	663,660	449,741	11,822,432	109,367	11,931,800	△143,398	11,788,401
セグメント利 益又は損失 (△)	362,304	795,979	121,580	4,201	1,284,065	△105,933	1,178,131	△528,793	649,338

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額△528,793千円はセグメント間取引消去△143,398千円、のれんの償却額△21,997千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△363,397千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社に係る費用であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイル広告事業」セグメントにおいて、運営する一部のサイトのうち、収益性の低下が見込まれるソフトウェアについて減損損失11,227千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	コンテンツ プロバイダ 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売 上高	11,198,783	877,236	1,407,254	13,483,274	7,536	13,490,811	-	13,490,811
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	89,206	61,390	68,171	218,768	5,941	224,710	△224,710	-
計	11,287,990	938,626	1,475,425	13,702,042	13,478	13,715,521	△224,710	13,490,811
セグメント利益 又は損失(△)	1,279,052	145,609	365,161	1,789,824	△162,916	1,626,907	△601,082	1,025,824

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額△601,082千円には、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△579,236千円を含んでおります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、組織変更に伴い報告セグメントを従来の「インターネット広告事業」、「モバイル広告事業」、「コンテンツプロバイダ事業」、及び「海外事業」の4区分から、「広告事業」、「コンテンツプロバイダ事業」、及び「海外事業」の3区分に変更しております。

なお、当該組織変更を反映した前第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	コンテンツ プロバイダ 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,592,598	730,295	449,741	11,772,636	15,765	11,788,401	—	11,788,401
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	36,160	2,553	—	38,713	7,635	46,349	△46,349	—
計	10,628,759	732,848	449,741	11,811,349	23,400	11,834,750	△46,349	11,788,401
セグメント利益 又は損失(△)	1,234,194	80,772	4,201	1,319,168	△141,036	1,178,131	△528,793	649,338

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△528,793千円には、主にセグメント間取引消去△18,254千円、のれんの償却額△21,997千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△488,541千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年10月20日開催の取締役会において、伊藤忠商事株式会社に対する第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議し、平成23年11月30日に払込手続きが完了いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間において、資本剰余金が195,059千円増加するとともに、自己株式が399,974千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が1,663,601千円となっております。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。